

6 経営計画2021



東京の下水道は、初期に整備された下水道管や水再生センターなどの老朽化が進み、機能維持の対策が必要となっています。また、気候変動に伴い激甚化・頻発化する豪雨に対する取組の強化が求められています。さらに、東京の人口減少が目前に迫る中、事業を支える人材の確保などの課題にも適切に対応していく必要があります。

こうした状況の中、下水道の基本的な役割を担い続けるとともに、長期的な視点に立って下水道サービスの更なる向上を図るため、令和3年度から5年間の事業運営の指針となる「東京都下水道事業 経営計画2021」を策定しました。



三つの経営方針と目指すべき姿

経営方針1 お客さまの安全を守り、安心して快適な生活を支えます

- ・「汚水の処理による生活環境の改善」、「雨水の排除による浸水の防除」及び「公共用水域の水質保全」という下水道の基本的役割が着実に果たされている。
- ・激甚化する豪雨や首都直下地震などの自然災害に対して、下水道の機能が確保されている。

経営方針2 良好な水環境と環境負荷の少ない都市の実現に貢献します

- ・良好な水環境が次世代に引き継がれ、海や河川などの水質が改善されている。
- ・エネルギー使用量や温室効果ガス排出量の削減が進み、環境負荷の少ない都市の実現に貢献している。

経営方針3 最少の経費で最良のサービスを安定的に提供します

- ・公営企業の経営の原点である公共性と経済性が最大限に発揮され、最少の経費で最良のサービスが提供されている。
- ・技術力の向上や人材の育成、健全な財政運営などにより経営基盤が強化され、お客さまのご理解やご協力のもと、安定的な事業運営が行われている。

経営計画2021の体系

